

NFD 西白杵消防だより

第7号



令和3年3月

//////////////// 2020年度 全国統一防火標語 //////////////////

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」



For Our Hometown

山岳遭難に備え救助訓練実施

西臼杵消防本部では、令和2年12月24日と25日の2日間、県消防学校から教官を招き、山岳救助訓練を実施しました。

初日は、地図の読み方や方位磁石の使い方などの座学と、消防署敷地内でロープの張り方や確保要領など実技訓練を実施。2日目は実際に高千穂町内の山に入り、「登山者が滑落して負傷し救助を求めている。防災ヘリは悪天候のため飛行不可」との想定で訓練を実施しました。隊員たちは、山中の急斜面や足場の悪い箇所、自分の安全を確保しながら要救助者を安全に救助する方法を学びました。



▲ ロープの張り方、確保要領の実技



▲ 急斜面ではロープを張りながら登はん



▲ 要救助者を背負い、ロープで確保を取りながらゆっくり降下 ▲



地震への備え 万全ですか

2月13日に福島・宮城を襲った、最大震度6強の地震では、多くの人が東日本大震災の教訓から地震への備えをしていたことで、比較的被害が少なく、混乱も起きなかったと言われています。

近い将来に発生が危惧されており、宮崎県でも甚大な被害が想定されている「南海トラフ地震」。その日のために、日頃からの備えを確実にしておきましょう。



〈非常用の備蓄品、非常持出品を用意〉

- 水や食料品を最低3日分備蓄しておく。
- 非常食・水、衛生・救急用品、懐中電灯、携帯ラジオなどをリュックに詰めて持ち出しやすい場所に置いておく。貴重品、予備の乾電池やスマートフォンの予備バッテリーなども。

〈家具の転倒防止〉

- 背の高い家具は固定して倒れないようにする。
- 食器棚にガラス飛散防止のフィルムを貼る。

〈避難のために〉

- 近くの避難場所を家族で確認しておく。

消防職員意見発表会



▲ 白瀬 倫大 消防士長
「住民に寄り添う消防」

◀ 〈最優秀賞〉
永澤 順平 消防士長
「命の医療格差をなくすために」



▲ 藤本 尉公 消防士長
「防災を日常に」

2月19日、西臼杵広域行政事務組合消防職員意見発表会を行いました。これは、職員の知識の研さんや意識の高揚を図り、資質の向上を目的として行うもので、今回は、職員3人が発表。それぞれが、日頃の業務を通じて感じたことや課題として取り組むべきことについて意見を述べました。

最優秀賞に選ばれた永澤 順平消防士長は、4月に延岡市で開催される「宮崎県消防職員意見発表会」に西臼杵消防本部代表として出場します。

火災が多発しています!



西臼杵消防本部管内では、今年に入って既に11件(昨年同期比8件増)の火災が発生しています(令和3年2月24日現在)。その内訳は、建物火災2件、林野火災5件、その他の火災4件となっています。例年、春先には林野火災やその他の火災が増える傾向にありますが、今年は異常に多く、1日に2件相次いで火災が発生した日が3日ありました。

林野火災、その他の火災については、火入れや枯草等の焼却を行っていたところ、予定外の範囲まで燃え広がってしまい、火災に至ったというものです。

※「その他の火災」とは、田畑や空地で発生した火災のことです。

林野火災等を予防するために

◎気象状況を確認する

テレビの天気予報等で気象状況を確認し、乾燥注意報が出されているときや、風の強い日には火入れや枯草等の焼却をしない。

◎消火用の水などを用意する

火入れ等を行う際は、消火用の水バケツや消火器(数本)、たたき消すための緑の葉のついた枝木、土をかけるためのスコップなどを用意する。

◎火から絶対に目を離さない

火入れ等は必ず複数人で行い、その場から離れることなく、すぐに消火できる準備をしておく。

火入れ等の際は届出が必要です

農地等への火入れや枯草等の焼却を行う際は、火災予防条例により消防署に届出が必要です。

■必要な届出

「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書」



お問い合わせ先
消防本部予防係
☎82-2900

少しの油断が火災を招く

火災になってしまったら

〈迅速な通報を!〉

被害を最小限に食い止めるため、ためらわず早い段階で119番通報してください。携帯電話は常に所持しておきましょう。

〈初期消火は無理をせず!〉

火の勢いが強く、初期消火がうまくいかなかった場合、火に巻かれるおそれもありますので、無理をせず安全な場所で消防隊の到着を待ってください。

【火災の定義】

「火災」とは人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要のある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

(「火災報告取扱要領」より)

令和2年中の災害等の状況についてお知らせします

令和2年中 災害等出動件数



単位：件

災害区分	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管轄外	合 計
火 災	9	5	1		15 (+3)
救 助	6	8	3		17 (-6)
警 戒	55	16	6		77 (+11)
救 急	556	126	75	1	758 (-58)



※1 合計欄の（ ）内の数字は前年比の件数です。

※2 警戒には、ドクターヘリ・防災ヘリ要請時の支援出動、火災かどうかの確認のための出動等が含まれます。

令和2年中の火災の状況(火災件数)

単位：件

災害区分	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合 計
建 物	4	3	1	8
林 野	1			1
車 両	1			1
その他	3	2		5
合 計	9	5	1	15



火災は次の種別に区分されます。

- ①建物火災
建物又はその収容物が焼損した火災
- ②林野火災
森林、原野又は牧野が焼損した火災
- ③車両火災 ④船舶火災 ⑤航空機火災
- ⑥その他の火災
①～⑤以外の火災(田畑、空地など)

令和2年中の救急の状況(出動件数) ((()))

単位：件

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	合計
高千穂町	0	0	0	31	4	3	94	0	11	286	125	0	0	2	556
日之影町	0	0	1	18	2	2	20	0	1	68	14	0	0	0	126
五ヶ瀬町	0	0	0	0	0	0	11	0	2	42	20	0	0	0	75
管 轄 外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	0	0	1	50	6	5	125	0	14	396	159	0	0	2	758

救急件数は、令和元年中と比べ58件減少しています。これは、コロナ禍の影響で人の動きが大幅に少なくなったことが主な要因と考えられ、全国的に救急出動件数は減少しています。

指令室

一週間の楽しみにしていた大河ドラマ「麒麟がくる」が先月で終了してしまいました。明智光秀と言えば、謀反人というイメージが強かったと思いますが、誰よりも平和な世を希求し、義に厚い武将として描かれ、新たな光秀像にファンも増えたのではないのでしょうか。長谷川光秀も染谷信長もはまり役でしたね。

東日本大震災から早10年。奇しくもその節目を目前にした2月13日、大きな地震が再び福島宮城を襲いました。幸い人的に大きな被害はありませんでしたが、多くの人が10年前の恐怖を思い起こしたことでしよう。近い将来発生する確率が高いとされている南海トラフ巨大地震。私たちは、地震に限らずこれまでに起きた様々な災害を教訓として、十分な備えをしておきましょう。

幸福の象徴「麒麟」が来て、災害のない、そして「コロナ」によって窮屈な生活を強いられることのない、平和で穏やかな世の中となることを祈るばかりです。

(一)